

# 中学校第1学年社会科学学習指導案

日時 平成24年9月18日(火)

指導者 1年担任 教諭 橋本 義昭

## 1 単元名 「古代国家の歩みと東アジア世界」 (東京書籍)

## 2 単元について

### (1) ねらいについて

本単元は、新学習指導要領の内容項目(2)の「古代までの日本」について学ぶ。歴史的分野の学習の中心は我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させることである。奈良時代は、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族の政治が展開した時代である。また、遣唐使によって大陸からもたらされた仏教文化を中心にしたさまざまな文化の影響を受け、日本の古代文化は形成されていった。

本題材を学習することは、日本が律令制等の政治だけでなく、仏教を中心とした文化の面においても大陸の影響を受けていたことを学習することで、日本の古代史を世界的な視野からとらえさせるうえでも重要であると考えられる。

### (2) 生徒の実態について

※ 省略

### (3) 指導にあたって

- 律令国家形成期にあたって、その時代背景や仏像、建築物、書物など、それぞれの時代の代表的歴史遺産をもとに、既習事項の確認をしながら、その特徴を押さえる。
- 政治制度と同様に、大陸の影響を受けながら発達した我が国の文化を、さまざまな資料をもとに多角的に考察させることで、資料読解力及び思考力を養う。
- 歴史授業に対して関心が極めて高いが個人差があるため、生徒の関心を大切にしながら、共に学び合う歴史学習に取り組ませる。
- 中心となる歴史的資料を丁寧に読み取らせ、そこから得たさまざまな情報をもとに、自分の考えをまとめる力を育てる。
- 机間指導などを通して、生徒の気づきやつぶやきを積極的に紹介し、自信を持って発表できる雰囲気を作り、達成度に応じて個別に支援する環境をつくる。
- 発問に応じて、個人で考えを深めた上で班や全体での話し合い活動を通して共に学び合う意識を高める。
- 電子黒板とパソコン、デジタル教科書等、様々なコンテンツを活用することで、生徒の関心・意欲を高め、学習内容の理解を助ける手立てとする。

## ICT活用のポイント

### ①教師の活用

- ・導入の課題提示において、これまで学んだ資料を提示することにより、これまでの授業を振り返り、課題に対して興味・関心を高めるようにする。

### ②生徒の活用

- ・展開時、生徒自身が学び合いで深めた考えを発表する場面において、書画カメラと電子黒板を事象提示に活用し、自分の伝えたいことを他の生徒にわかりやすく発表できるようにする。

## 3 単元の目標

大陸文化の影響を受けながら、律令国家として形作られていった過程を、人物や外国との関わりと関連づけて考えさせたり、他の時代との比較を通して奈良時代の特色をとらえさせたりする。

## 4 単元の評価規準

社会事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象への 知識・理解
奈良時代について、映像資料を通して、政治や文化についての関心を高め、時代の特色を意欲的に考えることができる。	奈良時代の人物や歴史事象を活用し、奈良時代の特色を根拠を持ってまとめることができる。	当時の資料から、奈良時代の農民の生活や大陸との関わりを関連づけてまとめることができる。	奈良時代の政治や文化の特色を、アジアとの関わりを通して理解することができる。

## 5 指導計画及び評価基準（4時間取扱い）

時	学習活動	指導上の留意事項	関	思	資	知	評価基準・評価方法
1	飛鳥時代を振り返り、奈良時代についてのイメージを確認する。	・飛鳥時代との関連を図りながら、奈良時代についての関心を高められるようにする。	○				・飛鳥時代の学習内容をふまえて、特色を確認し、奈良時代の学習について関心を高めることができる。
2	律令の制定、都の造営、貨幣の発行、地方への支配の広がりなどを通して、古代国家の特色について考える。	・デジタル教科書を用いて、視覚的に平城京をとらえさせ、天皇による支配の仕組みを律令制を中心にとらえさせる。		○		○	・平城京の様子から天皇・貴族の力の大きさや中国の影響について多面的・多角的に考察し、その知識を表現することができる。

3	班田収授法についてまとめ、奈良時代の人々の生活の実態を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>貴族と農民との比較を通して、貧富の差の拡大や公地公民制が崩壊したあらしを考えさせる。</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>墾田永年私財法により、公地公民制が崩壊していった経過を説明することができる。</li> </ul>
4	正倉院の遺物から、天平文化の特色を理解することで、遣唐使の果たした役割について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>正倉院の遺物から、大陸文化との関連性をとらえさせ、奈良時代の文化の特色をまとめさせる。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>正倉院がシルクロードの東の終着駅といわれる理由を資料からまとめることができる。</li> </ul>
5	これまでの学習内容を通して、奈良時代の特色をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで学んだ資料を活用し、自分の考えの根拠となる資料を選択してまとめさせる。</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>奈良時代の特色を一文で表し、その根拠となる資料を1つ挙げて説明することができる。</li> </ul>

## 6 本時の展開

(1) 目標 これまでの学習内容をもとに、奈良時代の特色を根拠をもってまとめることができる。

### (2) 展開

過程	学習活動、主な発問 (T) 予想される生徒の反応 (C)	指導上の留意点・評価	備考 ICT活用
導入 5分	1 映像資料を通して、奈良時代の学習をふり返り、課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの奈良時代の学習をふり返らせ、学習課題を提示する。</li> <li><b>徹底指導</b> (ポイント)</li> <li>○電子黒板で示す資料を通して、これまで学習した人物や出来事の基礎基本を確認する。</li> </ul>	電子黒板
<p>課題 奈良時代の特色を一文で表し、その理由をこれまで活用した資料を用いて説明しよう。</p>			

<p>展開 35分</p>	<p>2 具体的な課題追求を行う。 (T) これまでの授業で使った資料を活用して、自分の考えをまとめましょう。</p> <p>【言語活動】（設定の意図） 生徒のあいまいな考えを、グループや全体で意見を出し合わせることで、より具体的な考えに深める。</p> <p>(C) 天皇中心の政治が確立した時代 （理由）律令制度、平城京、遣唐使 (C) 仏教の力で国を安定させた時代 （資料）東大寺、鑑真、行基 (C) 唐から様々なことを学んだ時代 （資料）遣唐使、正倉院、古事記などの文物 (C) 法制度が整えられ、貧富の差が進んだ時代 （資料）租税制度、貧窮問答歌、貴族の邸宅 (T) 練り上げた意見を班でまとめましょう。 (T) 班で交換した意見をもとに自分の考えを明確にして、全体に発表しましょう。</p>	<p>○これまで学習した資料から、自分の考えの根拠となる資料を選択してまとめさせる。</p> <p><b>能動型学習（ポイント）</b> ○どの資料を用いたのか、その理由も含めて意見交換をさせることで根拠をより明確にさせる。</p> <p><b>◆思考・判断・表現（ワークシート）</b> <b>B基準</b> 奈良時代の特色を一文で表し、その根拠となる資料を1つ挙げて説明することができる。</p> <p><b>A基準</b> 奈良時代の特色を一文で表し、その根拠となる資料を2～3挙げて説明することができる。</p> <p>&lt;B基準に達していない生徒への手だて&gt; ○奈良時代のキーワードとなる人物や出来事から、奈良時代の特色を考えさせる。 ○自分の考える特色にふさわしい資料を1つ選ぶように促す。 ○自分の考えや疑問を班で出し、友達からのアドバイスを受けるようにさせる。</p> <p>&lt;B基準に達した生徒に取り組みせる活動&gt; ○理由を、班や全体にわかりやすく説明できるようなまとめ方を工夫させる。 ○発表の助けとして、資料を提示し、自分の考えの根拠を明確にして発表をしていくように指導する。班の考えをもとに、全体で考えを深め合わせる。</p>	<p>電子黒板</p>
<p>終末 10分</p>	<p>3 個人で最終的にまとめを行い、全体に発表する。</p>	<p>○学び合いを通して深めた内容をまとめ、発表させる。</p>	<p>電子黒板</p>